



Snowmonterey

巻頭言

ウィズコロナ時代のスキー

石狩スキー連盟
会長 駒形武志

コロナ禍の日々の生活の中で、マスク着用の習慣などは、日常の生活にすっかり定着してしまいました。マスクなしでは、人と会うことさえできないほどです。着用しないで人前に出ると、恐怖感さえ覚えます。若者にとっては、マスクを着用すると「小顔」に見えるということで、マスクはあたかもファッションの一部になっているようです。コロナが終息した後も、マスクを外すことができなくなる若者が、少なからず出てくるのではないかと懸念されます。

石狩スキー連盟もこの3年間は、事業を中止したり、縮小したりする形で連盟の運営を行ってまいりました。昨シーズンは、人数の制限や検温の厳格な実施など、感染予防の手立てを取ることによって、いくつかの事業を行うことができました。これは、事業を推進する皆さんの熱意と、会員の皆さんの協力のお陰だと思っております。今シーズンは、2年間中止になっている石狩市民スキー大会の開催についても、実施の方向で準備を進めております。従来通りの実施は難しいかもしれませんが、何とか成功させたいものです。

さて、コロナ禍のせいもあるのでしょうか。とりわけ、コンピュータに関わることは、学校や職場の環境を一変させました。SAJが資格とイベント登録に導入した「シクミネット」もその一つだと思います。本連盟では、これまでシクミネットについては、「代理登録」という形で、事務局が一括して登録を行ってまいりました。しかし、今シーズンからは、コンピュータの環境が整っていない方については代理登録の形を残しつつ、「個人登録」の形を取らせていただきました。

シクミネットの場合、その仕組み上、会員登録は、一度、連盟の「承認」を得ることが求められます。そのため、たとえば登録完了と支払い完了までには、どうしてもタイムラグが生じます。私たちがインターネットなどで品物を購入する際、購入のボタンを押すと、即、支払いの画面に移行します。しかし、シクミネットの場合は、そうではありません。連盟事務局が「承認」をしなければ、次のステップに進むことはできないのです。事務局としては、石狩スキー連盟への登録が終わっていない方に対して、「承認」のボタンを押すわけにはいきませんでした。領収書の件についても同様です。登録申込票には領収書の添付を求めているのに、シクミネットの領収書は支払いができないので発行してもらえない。矛盾が生じ、当然、混乱が起きてしまいました。現在、会員の皆さんの登録と、それに伴う支払については、シクミネットと、石狩スキー連盟の二本立てになっています。この点についても、改善の余地がありそうです。今後の課題です。

このように、ウィズコロナの時代は、これまで私たちが経験してこなかった様々な問題が起こりうることを想定しなければなりません。今シーズンも会員の皆さんのスキーライフが、一層、充実したものになるよう、皆さんで知恵を出し合いながら取り組んでまいりましょう。

指導員・準指導員・認定指導員 合格おめでとうございます

今シーズンの指導員・準指導員・認定指導員の合格者は次の方々です。今年もコロナ禍でいろいろなことが制限される中での養成講習は大変だったと思います。受講生のみなさん講師のみなさんお疲れ様でした。

合格おめでとうございます。

- ・指導員 保尊正光さん、大場克典さん、木村友哉さん、勝浦由衣さん、高井史朗さん、佐藤史一さん
- ・準指導員 重本喜一さん、永沼秀都さん、藤本知大さん、宮下義文さん、山元浩一さん
- ・認定指導員 高田彩花さん、西村真帆さん

資格を取得された方に受検の動機やスキーへの思いを綴っていただきました。ありがとうございます。

『指導員検定を合格して』

佐藤史一

指導員検定に合格させていただき誠にありがとうございました。これもご指導してくださった指導部の先生方や、受講生達の励ましと協力の賜物であると思っています。

今思い出してみますと何故指導員になりたかったのか？それは陸上自衛隊内で部隊スキー指導官から上級スキー指導官に認定された中で、常に壁に当たるのが『スキー技術の向上』よりも『指導能力の向上』だったからです。指導能力の向上とは難しいもので、的確に個癖の矯正要領の思考過程を考え実践する上で、個人のスキー技術の向上は勿論、指導法とは実践と経験が最重要であると強く認識しました。それを培える環境は、陸上自衛隊は勿論、SAJ 内にもあるのではないかと思います、SAJ の指導員制度を知り、石狩スキー連盟の門戸を叩き、今に至ります。

余談ですが本検定各種目の滑走前には、妻の鬼の形相を思い出すとお尻に火がつき、いつも以上の力が出たような気がします(笑)不合格だと帰れないとも覚悟しました！それは合格するまでの費用が最低限だとしてもかなりかかっているという妻の圧力があったからです(笑)結果的には良いメンタルトレーニングにも繋がったと思っています。

これからは石狩スキー連盟の準指導員・指導員検定受験者に対して少しでも合格の手助けができるよう協力していきたいのと、石狩スキー連盟の活動にも寄与していきたいと思います。今後共石狩スキー連盟の諸先輩方のご指導、ご鞭撻よろしくお願いします。

『準指導員に合格して』

永沼秀都

今だから言うとはやはり筆記試験は恐怖でした一学校卒業してウン 10 年試験を受けたことがなく必死でした 毎日職場の休み時間もとにかく教程を読みまくり過去問を毎晩 晩酌を我慢して頑張りました 実技では毎年以上に低速を大事に練習した年となり高速の滑りに繋がっていきましました 大会と準指導の平行は時間も足りなく中々大変でしたが石狩連盟や所属チームに支えられて合格する事ができ本当に感謝しています スキーは自分にとって大切な人生の一部です仲間との出会いや絆を今も与えてくれていて だからこれからも自分の技術向上を目指しながらそして伝えていきたいと思っています。

『肉体的限界突破』

保尊 正光

無事に指導員検定に合格させていただき、ご指導いただいた講師の先生方また一緒に頑張った受験生をはじめ多くのスキー仲間感謝いたします。

ここ数年は怪我により普通の生活も難しい時期が続いていました。経年の負荷により 3 年程前に腰椎ヘルニア切除手術をし、翌年はスノーボードの転倒事故で頸椎を損傷し、人工関節を入れてチタンプレートで固定しています。ドクターストップでその年はスキーができませんでした。現在も以前骨折した左肩関節の腱板の損傷により左腕が上がらなく、左足首の捻挫も 3 年ほど治癒せずに痛みを抱えている状態です。

前回指導員検定に不合格し、「肉体的限界」を感じてスキーもボードも引退しようと思い、周囲にもそのように話をしていました。ところがあるスキー仲間から LINE で「指導員受験申込の督促」が届きました。恐らくそれがなければ、今回受験申込もしていなかったと思います。その時に自分に課したのは「10 年計画：合格するまで 10 年間は諦めない」ということでした。そのあと、連盟の先生方の熱い御指導により、リハビリトレーニングしながら無事に指導員検定に合格することができました。

今この文章を作成している左手は怪我の後遺症で痺れていますが、来年はスノーボードの指導員検定に挑戦しようと思います。まだまだ自己研鑽して「肉体的限界突破」！！

退会します ありがとうございました

長年石狩スキー連盟でご尽力いただいた方が、退会します。連盟やスキースクールなどの活動に感謝します。本当にありがとうございました。

山本妙子さん、今井 登さん、吉田昭一さん、佐々木忍さん、中塚宗太さん、森 道明さん、實松克典さん、伊東みづきさん、永洞礼央さん、宗方英雄さん、小田上浩佳さん